

## 本区のデータ

(1)面積 53.20km<sup>2</sup> (平22.1.1)

(2)人口 (人)

35国調 12国調 17国調 平22.1.1住基  
 80,106 65,578 62,723 665,179  
 65歳以上人口比率(17国調) 22.2%

(3)世帯数

35国調 12国調 17国調 平22.1.1住基  
 17,087 20,495 20,968 316,416

(4)沿革

平16.4.1合併(市制施行)  
 峰山町 大宮町 網野町 丹後町 弥栄町  
 ・久美浜町

(5)産業構造

区分	就業人口	就業人口
	45国調	17国調
1次	12,286人	3,622人
	27.5%	10.9%
2次	20,502人	11,891人
	45.9%	35.9%
3次	11,896人	17,473人
	26.6%	52.8%
計	226,230人	33,111人

## 区の概要

足立区は、その昔、海辺に接していた低湿地帯の一部で、湿原や荒地だったと推定されています。足立という地名の由来は、あたりに葦がたくさん生えていたので、「葦立ち」といったのが、「足立」になったという説があります。

区内は全体的に平らで、人工的に築かれた荒川の堤防や公園内の丘以外に丘らしい高地はほとんどありません。北西部はやや高く、南東部に行くに従って緩やかに傾斜しながら下っていることから、昔から足立区は農耕に適していました。

足立区は、東京都の北東部に位置し、北は埼玉県に隣接しています。

東京23区の中では、3番目に大きな区です。

ここ数年、新たな鉄道が開通するなど交通の便がよくなり、現在、鉄道(モノレールを含め)は6会社が乗り入れています。都心に出るのに便利な地域です。

主要駅や工場跡地の再開発などで、大型マンションの建設が進んでいる地域がある一方、昔ながらの路地や密集した住宅もまだまだたくさん残っています。

## 支援に向けての取り組み状況

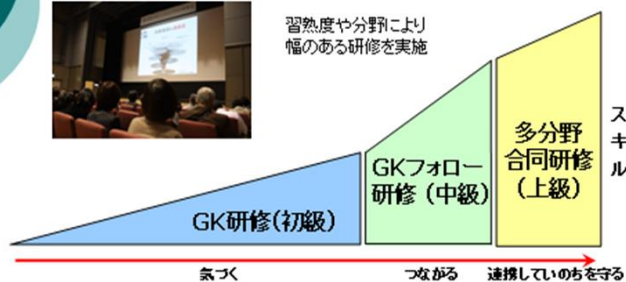
### 足立区の取り組み 4つの柱

- 1 「気づき」のための人材育成
- 2 当事者に対する支援策
- 3 関連団体とのネットワークの強化
- 4 区民への啓発・周知

## 1 人材育成 連携するためには共通認識が必要

### ゲートキーパー研修

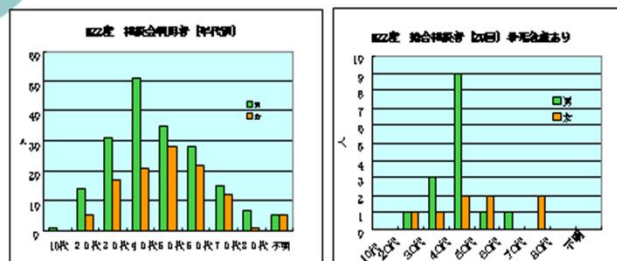
習熟度や分野により幅のある研修を実施



⇒受講者 職員:1200人(全職員の約1/3) 区民・関係機関:500人 ▲足立区

## 2 当事者支援 取り組み② ～総合相談会～

平成22年度  
雇用・生活・こころと法律の総合相談会  
相談会利用者



## 2 当事者支援 取り組み① ～総合相談会～

雇用・生活・こころと  
法律の総合相談会



平成22年度

⇒開催回数 20回  
来所者 298人  
相談件数 515件  
希死念慮者 23人



## 3 ネットワークの強化 STEP① ～関連団体との連携～

足立区こころといのちの相談支援ネットワーク



## 3 ネットワークの強化 STEP② ～弁護士会との連携～

保健所・保健師との連携

- (1) 個人の支援で連携
- (2) 事業で連携(暮らしと法律の相談会など)
- (3) ネットワーク会議で連携



顔と顔が見える連携をめざし、  
お互いのハードルの高さを低くしたい

## 4 啓発・周知 取り組み 社会全体で「生きる支援」の取り組みを!

あだち広報  
2009年12月10日号  
区内全30万世帯に配布



生きる支援対策動画  
「いきる つながる しのをを守る」  
研修やイベント時に使用。  
Youtubeで配信

